

はらから HARAKARA

No.232

2015年
12月21日

発行：北地域労働組合はらから
530-0047 大阪市北区西天満4-2-7
昭栄ビル北館21号
電話：06-6361-7979
FAX：06-6362-7419
E-Mail:kita-rou@lapis.plala.or.jp
発行責任者 田中 徹

必ず断ち切ろう、戦争への流れ

NO WAR

あなたの怒りを署名に



戦争法「安全保障関連法案」が自公政権により国会で強行成立してから3ヵ月。

国会周辺での大規模集会は見られなくなっていますが、全国の津々浦々で、そして若者、女性、学園など階層別の集会やデモが粘り強く取り組まれています。

安倍内閣の悪政は沖縄・TPP・税金・労働・学費などなど広範囲にわたり私たちの生活と人権を踏

みにじってきており、文字通り史上最悪の内閣となっています。

その悪政組に大阪からウソとペテンの常習者集団が加わろうとしている現状です。

日増しに強くなる「野党は共闘」の声は地方から徐々にたたかう体制を取りつつあり、私たちはこの流れを後押しするために、「戦争法廃止2000万人署名」に取り組んでいます。ご協力ください。

2016年を「はらから」の飛躍の年にするため、全員が力を合わせて頑張りましょう。

11月27日、はらからの第34回定期大会が開催されました。

執行委員長
田中 徹



中津学園労働刑事弾圧事件 最高裁へ上告趣意書

不当な解雇を撤回させる裁判の途中、相手方がでっち上げた6年前の「業務上横領」事件。一方的な証拠調べと推認で有罪とした裁判所の怠慢。無実の人には無罪を。12月18日に上告趣意説明会を開かれ、60人が参加しました。



2016年度執行部紹介

執行委員長	田中 徹
副執行委員長	伊藤友博
書記長	正井 淳
執行委員	宮城幸子
	福長博幸
	田端絹子
	長友史章
執行委員	古田佳央



特別執行委員

馬淵裕一郎	丸山藤代
森本麻倫子	山口 徹
佐藤和子	佐々木紀子
原 一義	大野英男
中島範子	

会計監査

はらから新年旗開き
2016年1月10日(日)
13:00~ ASU-NET事務所
参加費：1000円
詳細は、はらからにTel下さい

共済・友の会 の給付申請を お忘れなく

組合員のみなさん、
友の会や加入している
共済の申請お忘れでは
ないですか？

はらからでは1月〜
2月に宿泊補助が5
件出生1件、就学1件、

入院・通院が1件給
付がありました。

写真は2月19日に
開催された労働者友
の会の総会であいな
つする「元はらから
組合員」の清水ただ
しさん。



母波路通信(冬) 塚口 徹

塚口 徹



ようやく冬らしくはなってきましたが、暖冬のおかげで農作物に大きな影響がでています。あったかすぎると冬野菜はちゃんと育たないし、美味しくなりません。白菜、大根、葱なんかがそうですね。値段も高いし品質もよくないし、鍋やおでんの恋しい季節には寂しい限りです。

逆に春採りの野菜がもう出荷されています、春キャベツや大きな水菜がスーパーに激安で並んでいました。暖かいので早く大きくなりすぎて出荷せざるを得ない状態になったからです。

3月頃には春野菜が品薄となって高騰しそうです。今から種を蒔いても間に合わないのどうしようもありません。冬野菜はまともに出来ないし、春野菜は捨て値で売らざるをえないし踏んだり蹴ったり、農家の悲鳴が聞こえてきます。



暮らし 快適

(4人分) カブ(中くらい) 4~5個、鶏手羽先8本、長ネギ1/2本、塩少々、昆布5センチ、酒大さじ2、A(塩小さじ1、しょうゆ少々)、B(水大さじ6、かたくり粉大さじ3)

超簡単！
【カブと手羽先のスープ類】

(1) カブは厚めに皮をむく。長ネギは4センチ長さに切り、さらに縦半分にする。手羽先は先の部分を切り落とし、塩をもみ込む。

(2) 鍋に水を6~7カップ(分量外)と手羽先、昆布、酒を入れて強火にかける。沸騰したらアクをていねいに取り、カブと長ネギを入れる。再び沸騰したらふたをして弱火で20~30分煮込む。

(3) Aで味を調え、よく溶いたBを加えてとろみをつける。

(ポイント&アレンジ) カブは旬は3~5月と10~11月。皮に張りがあり、葉が青々としていて元気なものを選びましょう。



こちら北区 労働相談室

西播ユニオンが
ク施設を相手に労災を認め
させた記録です(第3回)

厨房では、料理長が調理人の労働条件、勤務環境、料理内容など全てに亘って権限を握っています。内容を列挙

すると賃金の査定時に言う事をきかないとして賃下げ、刺身や盛り付けなどの調理を教えない、病氣治療のための休暇を認めない、長時間の勤務を強要、一方で出勤すると「帰れ」と仕事をさせない、シフトに入れない。丁寧な指導をするのではなく調理器具を投げたり、蹴飛ばしたりする。「親の顔が見たい」などの暴言、何枚もの始末書・反省文の提出を強要するなどです。これらに對

して、支配人に幾度と是正を訴えるも何ら適正に対応することなく逆に料理長に同調するものでした。このような状況が続くも、料理長のパワハラ行為に抗議した高井さんに同僚が料理長に同調して高井さんを暴力で抑え込み高井さんが負傷した」と言うのが客観的な事実なのです。
西播ユニオン副委員長
大西 廣

西天満から

毎年2月に弁護士と労者と労組が学習・対話する権利討論集。心と体を病んでしま今年講師はNP O法人POSSEの今野晴貴さん。なせ「ブラック企業」なのか？経営者は大量採用して選別し捨てる。その相手を到底人間だと考えていない様子。結果的に非人間的な労働で、も耐えられる人間の。みを残す。「履歴書」

に傷がつく」のが嫌で理不尽な扱いに我慢を重ねてしまい、金儲けという「目的」のためには手段を択ばない社会が政府・財界のすめる「規制緩和」政策とともに増幅してきました。それなのにまだに言うか首相は、国会の冒頭、所信表明で「トリク ルダウン」へ「ますます」企業を備えられ